



これまでの「輝け！おばねっ子」は上のQRコードからご覧いただけます

～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

※毎週月曜日発行予定です

命を守るために自分で考えて行動する～「土砂災害」出前授業～

6月4日(火)に、県土整備部砂防・災害対策課の方々による、常盤小学校全校児童37名を対象とした「土砂災害」出前授業が行われました。

まず、がけ崩れを想定した避難訓練。「延沢地区、警戒レベル4。学校裏の斜面、がけ崩れの危険性」と放送され、避難指示が出されました。子供たちは、校舎と体育館の間の駐車場付近へ、真剣な様子で避難しました。高畠校長先生からは、「1秒の時間が生死を分けます。時間を大切に、自分で考えて行動してください」といった話がありました。



その後、体育館に入り、土砂災害の3つの種類についての説明がありました。

土石流	<ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨などにより大量の土砂が一気に流れます。 ・20～40 km/h と速度が速く、一瞬にして人や家々に襲いかかってきます。 <p>【前触れ】「腐った土のにおい」「急な川の濁り」「川の水の減少」</p>	
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> ・雨などで地下にたくさん水がしみ込んだ時、地面が大きな土のかたまりのまま、ゆっくりと移動します。 ・春の雪解け水の影響で山形県は発生しやすいです。 <p>【前触れ】「地面のひび割れ」「山の木の傾き」「井戸の水の濁り」</p>	
がけ崩れ	<ul style="list-style-type: none"> ・雨や地震の影響により、急ながけが一気に崩れ落ちます。 ・逃げる時間がほとんどなく人への被害が起こりやすい特徴があります。 <p>【前触れ】「がけから落ちる小石」「斜面からの湧水」</p>	

また、ミニチュアにより実際にどんなものかを目で確かめる実験も行われました。ミニチュアとはいえ、家がいとも簡単に倒れたり、流されたりする様子を目の当たりにし、子供たちは驚きを隠せず、土砂災害の恐ろしさを実感していました。



最後に、6年生の笹原羽倅さんが「前触れがあったら家族に知らせて逃げるようにしたい」と発表し、「土砂災害」出前授業は終了しました。

土砂災害などの災害から命や暮らしを守るために、『どこ』が危ないか、『いつ』逃げればよいかなどの防災の知識を日頃から身に付けておこうと強く思った1日でした。

【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤 雅史
TEL 23-3330